

福島第一原子力発電所 1号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 < 1/3 >

参考値

(データ集約 : 8/14)

採取場所	1号機原子炉建屋上部 (カバー排気系フィルター入口) (粒子状フィルタ)		1号機原子炉建屋上部 (カバー排気系フィルター入口) (チャコールフィルタ)		1号機原子炉建屋上部 (カバー排気系フィルター出口) (粒子状フィルタ)		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)	
	試料採取日時時刻	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)		倍率 (/)
I-131 (約8日)	平成25年8月5日 4時38分 ~ 5時38分	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	平成25年8月5日 10時19分 ~ 10時29分	7.2E-06	0.00	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	平成25年8月5日 7時19分 ~ 8時19分	1.7E-05	0.01	ND	-	ND	-	3E-03

・ E- とは、 $\times 10^{-}$ と同じ意味である。
 その他の核種については評価中。
 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。
 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。
 検出限界値は次の通り。
 揮発性の I-131 が約 4E-6Bq/cm³、Cs-134 が約 8E-6Bq/cm³、Cs-137 が約 1E-5Bq/cm³。
 粒子状の I-131 が約 7E-7Bq/cm³、Cs-134 が約 1E-6Bq/cm³、Cs-137 が約 2E-6Bq/cm³。
 ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

(データ集約 : 8/14)

採取場所	1号機原子炉建屋上部 (カバー排気系フィルター出口) (チャコールフィルタ)		1号機原子炉建屋上部 (カバー北西コーナー) (粒子状フィルタ)		1号機原子炉建屋上部 (カバー北東コーナー) (粒子状フィルタ)		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時時刻	平成25年8月5日 10時53分 ~ 11時03分		平成25年8月5日 8時43分 ~ 9時43分		平成25年8月5日 7時42分 ~ 8時42分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	1.6E-06	0.00	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	1.9E-06	0.00	3.5E-06	0.00	3E-03

. E- とは、. × 10⁻ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約4E-6Bq/cm³、Cs-134が約8E-6Bq/cm³、Cs-137が約1E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約6E-7Bq/cm³、Cs-134が約1E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

参考値

(データ集約 : 8/14)

採取場所	1号機原子炉建屋上部 (カバー南西コーナー) (粒子状フィルタ)		1号機原子炉建屋上部 (原子炉建屋オペフロ面開口部) (粒子状フィルタ)		1号機原子炉建屋上部 (使用済燃料プール天井部) (粒子状フィルタ)		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時時刻	平成25年8月5日 3時37分 ~ 4時37分		平成25年8月5日 6時40分 ~ 7時40分		平成25年8月5日 5時39分 ~ 6時39分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	1.2E-06	0.00	ND	-	6.1E-06	0.00	2E-03
Cs-137 (約30年)	3.4E-06	0.00	ND	-	1.4E-05	0.00	3E-03

. E- とは、. × 10⁻ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

粒子状のI-131が約7E-7Bq/cm³、Cs-134が約1E-6Bq/cm³、Cs-137が約1E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

本測定は、粒子状の空气中放射性物質の核種分析を行った結果である。